

社会貢献活動

当行は、明治35年の創業以来、我が国の経済発展と社会基盤の強化に寄与するという創業精神の下、長期信用銀行として社会的責任を果たすとともに、国内外において種々の社会貢献活動を行ってきました。当行は、経営理念の一つとして『社会への貢献と社会的責任の自覚』を掲げており、今後とも「良き企業市民」として幅広い分野での積極的な活動を続けていきます。

国内における社会貢献活動

(財)河上記念財団

当財団は、当行の元総裁、故河上弘一氏を追悼する記念事業として、昭和32年12月に設立されました。

主な事業は、若手研究者を支援する工学研究助成、法学研究助成、法律・経済分野の懸賞論文募集および外国人留学生に対する奨学金支給等で、設立以来、助成事業では約500件、6億8,000万円の助成を行い、また懸賞論文は41回実施し、受賞者は約760名におよんでいます。

(財)興英会

当財団は、当行創立50周年記念事業の一つとして昭和29年12月に設立された育英奨学財団です。公益法人として広く一般のニーズにお応えして育英事業の業容を拡大し、これまで多くの社会有為の人材(本年3月現在、累計652名)を育成してきました。なお、当財団は、昭和62年以降継続して文部大臣より「特定公益増進法人」であることの認定を受けています。

災害に対する支援活動

昨年10月、当行では(株)第一勧業銀行および(株)富士銀行と共同で、トルコ大地震被災者に対し、役職員および関係会社社員より義援金を募集し、総額約1,116万円を日本赤十字社を通じ寄付しました。

また、昨年11月、台湾大地震被災者に対しても義援金を募集し寄付を行いました。

国内拠点における活動

当行では、全行的に使用済みカードを収集し、ボランティアセンターに寄付しています。昨年度は、約4,100枚のカードを千代田ボランティアセンターに寄贈し、高齢者および身体障害者のための施設建設、医療に恵まれない国への医師の派遣等のボランティア活動費に使われています。

また、(財)しまね国際センターでは、タイ国のそろばん教育普及のため、使われなくなったそろばんを募集し寄贈するキャンペーンを行っています。当行では広島支店が中心となり、関連会社を含め1,138面のそろばんを寄贈しました。

海外における地域貢献活動

IBJ財団

米国地域社会への貢献として、平成元年12月に、在米邦銀による初めての財団として設立された当財団は、地域住宅サービス協会、ロスアンゼルス教師協会、米国地理学協会、米回国連協会等の米国における非営利団体に対する寄付活動を行っており、昨年も37の非営利団体に約50万ドルの寄付を行いました。その基金の総額は、当初の200万ドルから昨年末には1,260万ドルに達しています。こうした財団を通じた寄付活動のほか、当行の各拠点では「良き企業市民」としてのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

IBJ USA ケアーズ・デイ・プログラム

当行では、一昨年の、低所得者向けの住宅供給ボランティアに続き、昨年9月、第3回全米拠点合同ボランティア活動「IBJ USA ケアーズ・デイ・プログラム」を実施しました。60名を超える当行スタッフとその家族や友人が、6都市一斉に、各都市の非営利団体組織と共同で、100人の子供たちと博物館で芸術や科学の講義を參觀しました。



海外拠点における活動

当行バンコック拠点では、第一回目の海亀放流、第二回目の古着等物資の小学校への寄付に続き、昨年スタッフ一同の寄付金をもとに苗木の植林を行いました。

中国各拠点では、毎年スタッフの寄付により恵まれない子供および学校建設を支援しています。

また、インドネシア拠点では現地貧困地域への救済活動の一環として、元駐在員等を含めた国内外の行員からの寄付を活用し、コメの現地配給等の支援活動を行っています。